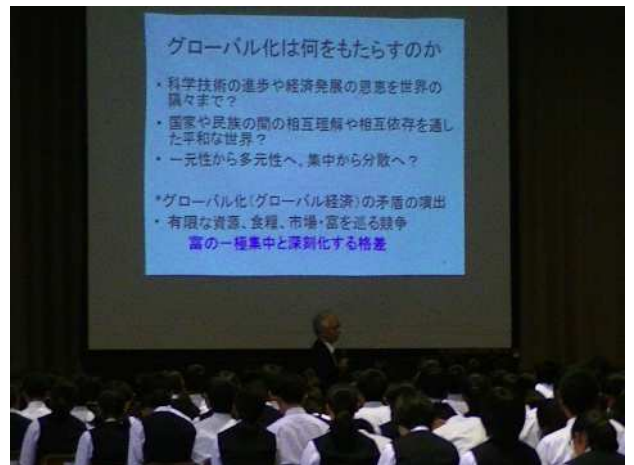


## SGH基調講演会 ～長崎でグローバルを考える～

5月8日（月）に長崎大学の片峰茂学長によるSGH基調講演会を開催しました。片峰学長は、高校1年生・中学3年生に対して「長崎でグローバルを考える」というテーマでご講演くださり、これからのSGH研究において何に向かって進めばよいかを示してくださいました。

まず、世界地図と宇宙から見た地球の姿を対比し、「国際化」と「グローバル化」の違いについて説明が行われました。世界は国境によって国別に分けられており、問題解決のために国と国との間での協力が必要である（＝国際化）。一方、宇宙から見た地球には国境はなく、そこで起きている様々な出来事は、地球規模で起きていることである（＝グローバル化）。

生徒はこの違いを聞くことで、これから取り組むグローバルな課題は、国境を越えた地球規模の課題であるということを実感することができたようです。



また、グローバル化の世界への影響について語ってくださいました。グローバル化の負の側面として、感染症、食糧問題、テロや戦争、地球温暖化などの問題が、人・モノ・金の瞬時の移動によって地球規模の問題へと発展していることが挙げられました。グローバル化によって、国家間での競争がなくなることで格差が広がっていくという問題点などを聞き、グローバル化の功罪について学ぶことができました。

片峰学長は、地域の課題に取り組むことが、地球規模の課題の解決への糸口につながるということを話してくださいました。多くの生徒がこのことについて強く印象を受けたようです。研究テーマの設定を目前に控えた高校1年生は「グローバルな問題解決について、取り組めることが身近にあるということが分かった。」「地域の問題ならできることがあると知り、嬉しく思えた。」「まず地域の課題に目を向け、そこから地球規模の課題へ役立てていこうとする考え方で取り組んでいこうと思う。」など、これからの活動への指針を見出すことができたようです。